



NO. 346

2022. 4. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<https://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

新年度を迎えて ～法人内各施設より～

令和4年の新年度を迎え、法人内の各事業所では管理者をはじめ人事異動がありました。（詳細は7面に掲載しています。）各事業所の管理者から就任のご挨拶をいただきました。

法人事務局 事業統括 上宮 俊一



この4月から法人本部に勤務しています。これまで児童相談所や福祉事務所でソーシャルワーカーをしていました。先月までは奈良県にある身体障がい者・知的障がい者更生相談所（大阪市の心身障がい者リハビリテーションセンターのような所です）にいました。

私の長男も重度の知的障がいがありますので、育成会でのお仕事には支援者の視点、親の視点から両面でも取り組んでいくつもりです。といっても、長年福祉の仕事をしていると、支援者の役割も親の役割もあり変わらないことに気づかされます。

長男は自閉症なので、パターン化された行動をとると安心するようです。毎週土曜日、日曜日は私と決まったところへ外出します。外出すると、長男の不思議な身振り、手振りから周りの心無い視線に晒されることも多くあります。もはやマイナスの感情は湧かないものの、その都度「誰かが守ってあげんと、この先、生きていけんねやろな」と思ってしまいます。

障がい者の権利擁護ってよく言われるようになりましたが、平たく言うと、心と体を援護することに尽きると思います。また、100%できることはないで

すが、考え方や感じ方をうまく表現できない人のために、代弁していくことではないでしょうか。特に社会生活を送るにあたって支援の必要度合いが大きい人に対しては、支援者というよりもむしろ援護者というほうが適切かもしれません。

長男が幼かった頃、西は九州、東は東京、それからカリフォルニアまで、著名な療育の専門家を訪ね、相談しました。大抵の専門家からは「お父さんはそこまですなくていい。専門の人に任せなさい」と言われ、私は安心するどころか、ショックを受け、不愉快な思いになりました。

唯ひとり、東京で障がい児向けの算数教育をされていた方から「お父さん、とことんやりなさい。脱サラしてでも、子どものために施設でも何でもつくればいい」と言われた時には涙がでるほど嬉しい思いでした。

こんな私ですので、育成会でも“とことん”やらせていただきます。何卒ご容赦くださいませ！（笑）

法人事務局 事務局長 飯塚 聡



新型コロナは発生から約2年が経過しても、まだまだ各所に影響を及ぼしています。その間、皆さんと直接お会いして活動をするともなかなか難しい状況です。

新型コロナにより社会全体の閉塞感が漂う中でも時間は刻々と流れており、さまざまな困りごとを抱えている方たちは、表に出てきていないだけであり、皆さんが平穏無事に過ごされている訳ではありません。大阪市育成会は全国組織の一員でもありますので、この2年間のコロナ禍の中でも、他団体ではどのような取り組みをしてきているのかを伺ってきました。